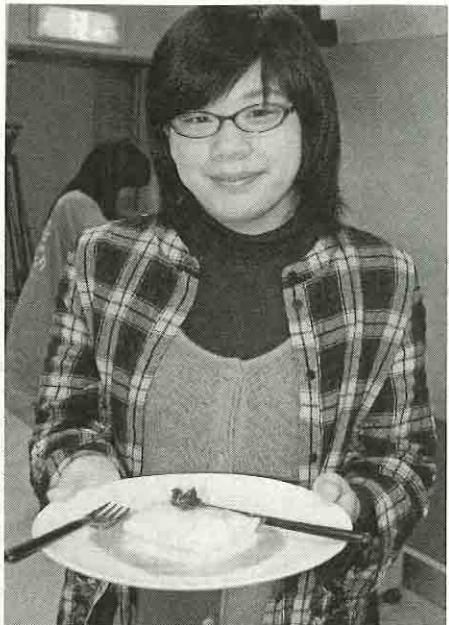


# 美郷梅酒PR初まつり

## 特区認定スイーツ藤村さん最優秀

吉野川



最優秀賞を受賞したスイーツを手に笑顔を見せる藤村さん（ふるさとセンターで）

全国初の梅酒特区に認定された吉野川市美郷地区で28日、「梅酒まつり」が行われ、観光客らが大勢訪れた。美郷の梅酒を広めようと、美郷商工会が初めて企画。メイン会場のふるさとセンターでは、梅酒や梅を使つたお菓子の料理コンテストが行われ、工夫を凝らした品々が披露された。

29日も地区内のリキュール製造場、物産館などで梅酒を味わえるイベントがある。

同センターでの「スイー

ツレシピコンテスト」には全国から39点の応募があり、書類選考で選ばれた10点がテーブル上に並べられた。地元の人や観光客が見つめる中、県出身の料理研究家・浜内千波さん、川真田哲哉市長ら審査員7人が、一つずつ味わつたり、形を見たりして審査した。

いずれも工夫をこらし、斬新な発想のものばかりで審査は難航したが、徳島市八万町の会社員藤村明子さんは、川真田市長ら審査員7人が、一つずつ味わつたり、形を見たりして審査した。

同地区では、この日の審査に残ったケーキやお菓子を梅酒とともに特産品として販売する予定。同商工会担当者の高木義夫さんは、「特産品づくりのアイデアに生かし、地区内のレストランなどで販売できるようしたい」と話していた。

ん(26)の「美郷風カルテット」と名付けられたケーキが、最優秀賞に選ばれた。調理法は、ミルク代わりに梅酒を使つたクレープで梅ジャムを包み、梅ジャムリースをかけ、漬け込んだ梅で飾り付けた。藤村さんは、「3回ぐらい作り直しました。選ばれると思つていなかつたのでびっくり」と笑顔を見せた。